「授業備品」NO85 H31.5.26あらおベーシックVer.4　第○学年○組　○○科学習指導略案

　　平成　　年　月　日（　）第○校時 指導者　　　○○　○○

１　単元名 〇〇〇〇 （〇〇〇〇 本時〇/〇）

２　本時の目標（付けるべき力）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ができる。

３　本時の評価規準 考　知など観点と評価規準を書く。　　　　　　　（　　）の中には評価する手段を書く

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（〇〇・〇〇〇）※ノート等

４本時のｷｰﾜｰﾄﾞ　　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習課程 | 学習活動（○発問・予想される児童の反応） | 〇子供全員が活躍する姿 | ■教師の関わりと評価 |
| 【振り返り】 | １　前時のまとめ・振り返りをペアで伝え合う。  ・（主な児童の発言例） | ①全員立ち一人ぶつぶつ |  |
| 【**展開**】  **問題提示**    **問いを持つ**  （**気づき**）  **めあての設定**    シラバス  言語わざの  提示  **問いの共有**  （見通し）    **1人学び**  　↓  班学び  　↓  集団解決  学び合い１  （意見出し）    学び合い２（考察）    **まとめ** | ２　問題を読む。  問題を記載する。  ○気づいたことを相談してから発表しましょう。  ・児童の反応例を書く。問題を見て、単純な気づきでよい。  ３　めあて(本時で付けるべき力)を確認する。  めあて（子どもたちが何をすればよいか分かるもの）  一人学び（　分）・班学び（　分）・学び合い（　分）・まとめ（　分）・振り返り（　分）  言語わざ「　　　　　　　　　　　　　　　　　　」  ４　今までの学習や本時のキーワードから解き方の見通しを立てる。  　・児童の主な反応例を書く。  　　こんな考え方を使って　こんな方法で…など。  ５　一人学びを行う。  ６　ペア・班学びを行い、意見を伝え合う。    ７　全体で考えを学び合う。  【学び合い①】  〇出た意見を比べましょう。  　・児童の主な反応例を書く。  ※単純な意見の出し合い  【学び合い②】  ○【学び合い①】を受けて、何について考察させたいのか明示しておく。  　・児童の主な反応例を書く。キーワードとつながるところ。    キーワードを使って、予想されるまとめを書く。 | ②全員立ち３回声に出して読み、全員で確認  ③気づきを発表（情報交換を入れてもよい。）    ④全員立ち、めあてを一人ぶつぶつ  （めあては徐々に自分たちで作れるようにする。まとめの書き出し書き）  ⑤課題設定後、できるだけ詳細な解く見通しを発表する（キーワードが並ぶ）  ⑥見通しが立つかグー・パー確認。見通しを立てられない場合は、分かる子がヒントを出す（聞きに行く場合もある）  ⑦自力解決が難しい場合は、早い段階で立ち歩き、仲間に聞き、教え合う  ⑧全員立ち『ぶらぶらタイム』後、ノートに加除訂正  ⑨全員がホワイトボード等に書いた後、班で一致点や共通点をキーワード等にまとめるなどを行う  ➉全員がホワイトボード等を黒板の前で見る  （一人ずつの発表形式はしない。）  ⑪めあてや見通しを再確認後、ホワイトボード等を見て意見交流をさせる中で共通点や相違点に気づかせ、考察を行う  　※めあてに迫ることができない場合は、切り返しの発問をする。  ⑫自分なりにまとめを書き、一人ぶつぶつ  評価：○○〇（　　　　　）  B基準 | ■本時での徹底事項  □個別の支援が必要な児童・生徒への手立て  ■考察が深まらない時の切り返しの発問 |
| 【**終末**】  **振り返り**    適用問題 | ８　学習したことを振り返る。  ９　適用問題に取り組む。（P,28　△３等） | ⑬自分なりに振り返りを書き、一人ぶつぶつ |  |

※文字に網掛けをした部分が、指導案作成の際に記入する部分ですが、太字部分も教科によって書き換えが必要になります。

あらおベーシック授業指標★重点学習過程ポイント

月　　日　　　　　　（　　　　　　　　　　　）学校　（　　　）年　　（　　　　　　　　　）先生

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | | 番号 | 視　　点（教師） | 評価 | 視　　点（子ども） | 評価 |
| 授業前 |  |  | 板書、グッズ、シラバス、キーワード、言語わざの提示、学習リーダーの確立★ |  |  |  |
| 見通し | 振り返り |  |  |  | 前時の振り返りのアウトプット①  （全員活躍の姿で） |  |
| 問題提示 | ③ | 子どもが問いをもてるような問題の提示 |  | 問題のアウトプット（声）② |  |
| 問をもつ |  | 問いを持つための視点を与えている  （分・聞・ち、調・考、等教科で違う） |  | 仲間と相談後、問いをもち、共有している。 |  |
| めあての設定 |  | 子どもたちが「何が、どのように出来るようになればよいか」理解できるめあてづくり |  | めあてのアウトプット（声）③ |  |
|  | まとめのリード文書を書いている。 |  |
| 問いの共有 |  | 見通しの詳細な手立て指導  （本時のキーワードを使う） |  | 自力解決の詳細な見通しを仲間から知る。 |  |
| 解決活動 | 自力解決 |  | 机間指導で個と全体の状況を見取っている。 |  | 見通しを生かし、自分の考えを持っている。（書くアウトプット） |  |
|  | 思考の時間の確保 |  |  |  |
|  | 考えの根拠や理由を書かせている。 |  |  |  |
|  | 赤ペンを持って回り、称賛やアドバイス、個の指導をしている。（参観者も入る。） |  | 困っている友だちに対し、教え合いをしている。 |  |
| ペア・グループ活動 |  | ホワイトボード等で全員の意見を可視化させている。（全員活躍）★ |  | ペア・グループ学びでは、全員が意見を記入し伝えている。（アウトプット④） |  |
|  |  |  | 互いのよいところを認め合っている。 |  |
|  | 発表の仕方や聞き方を指導している。 |  | 「～ですよね。」など言語わざをつかって、学び合いをしている。★ |  |
|  |  |  | 友達の考えを記録している。  （自分とは違った考え等） |  |
| 集団解決 |  | 学び合い①（意見の出し合い）は一斉確認で行っている。★  （２～４か所で学び合いの時もある） |  | 学び合いに入る前に、めあてのアウトプット（声） |  |
|  | 子どもの意見を構造化しながら板書している。 |  | ＊ホワイトボードのを消し、再度、個人の考えを短冊に記入する時もある。 |  |
|  | （修正がある場合）めあてにせまる切り返しの発問をしている。★ |  | 共通点や相違点、類似点を見つけたり、意見をつなげたりしながら、子どもたちで主体的に練り上げようとしている。★ |  |
|  | 考察の場でも全員活躍のための手立てを工夫している。（考察の紹介と指導）ｷｰﾜｰﾄﾞを動かす。 |  | 考察の場でも、全員活躍の姿がある。２～４か所の考察を紹介・指導する場合あり）ｷｰﾜｰﾄﾞを使っている。 |  |
| まとめ | まとめ  （価値の共有） | ⑲ | めあてとまとめ、評価の整合性が図られている。★ｷｰﾜｰﾄﾞ |  | キーワードをつかって、自分の言葉でまとめている。 |  |  |
|  |  |  | まとめのアウトプット⑤ |  |
| 振り返り | 振り返り | ㉑ | 振り返りの視点  ・「分かったこと」  ・友から学んだこと  ・新たにやってみたいこと等 |  | 振り返りの視点で書いている。★ |  |
| ㉒ |  |  | 全員が「何を学んだのか」認識できている。 |  |
| ㉓ |  |  | 字数や行数や漢字数などの条件に沿って書いている。 |  |
| ㉔ |  |  | 振り返りのアウトプット⑥ |  |
| ㉕ |  |  | 適応問題（解答まで）ができている。 |  |